



マニフェストを読んで選挙に行こう。

2024年4月12日
早稲田大学マニフェスト研究所
議会改革調査部会

早大マニフェスト研「議会改革度調査 2023」 分野別／自治体区分別／エリア別 ランキングを発表

早稲田大学マニフェスト研究所（顧問：北川正恭 名誉教授）が全国の自治体議会を対象に実施した 2023 年中の議会改革状況に関する調査「議会改革度調査 2023」について、この度分野（情報共有、住民参画、機能強化の 3 分野）別、自治体区分別、エリア別のランキングを取りまとめましたのでお知らせします。

調査概要・順位等の詳細資料は特設 HP よりダウンロードできます <https://maniken.jp/maniken/2023gikai/>



(1) 分野別（情報共有、住民参画、機能強化の 3 分野）

分野別 情報共有の順位			
順位	UP/DN	議会名	総合順位
1 位	5	福島県議会	23
2 位	9	登別市議会	1
2 位	29	取手市議会	6

分野別 住民参画の順位			
順位	UP/DN	議会名	総合順位
1 位	9	芽室町議会	3
2 位	0	登別市議会	1
3 位	8	松本市議会	11

分野別 機能強化の順位			
順位	UP/DN	議会名	総合順位
1 位	5	奥州市議会	2
2 位	3	登別市議会	1
3 位	8	会津若松市議会	12

(2) 自治体区分別（都道府県内、政令市内、中核市内、一般市内、町村内、特別区内）

全国の都道府県議会の中での順位			
順位	UP/DN	議会名	総合順位
1 位	0	茨城県議会	4
2 位	0	三重県議会	6
3 位	0	大阪府議会	18

全国の政令市議会の中での順位			
順位	UP/DN	議会名	総合順位
1 位	2	横浜市会	14
2 位	0	堺市議会	38
3 位	▼ 2	京都市会	41

全国の中核市議会の中での順位			
順位	UP/DN	議会名	総合順位
1 位	1	松本市議会	11
2 位	1	横須賀市議会	25
3 位	▼ 2	大津市議会	37

全国の一一般市議会の中での順位			
順位	UP/DN	議会名	総合順位
1 位	0	登別市議会	1
2 位	2	奥州市議会	2
3 位	0	加賀市議会	5

全国の町村議会の中での順位			
順位	UP/DN	議会名	総合順位
1 位	0	芽室町議会	3
2 位	4	宮田村議会	17
3 位	1	精華町議会	19

東京都 特別区議会の中での順位			
順位	UP/DN	議会名	総合順位
1 位	0	墨田区議会	33
2 位	2	足立区議会	58
3 位	▼ 1	板橋区議会	71

(3) エリア別（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州・沖縄）

北海道地方内議会の中での順位			
順位	UP/DN	議会名	総合順位
1 位	0	北海道登別市議会	1
2 位	0	北海道芽室町議会	3
3 位	0	北海道福島町議会	23

東北地方内議会の中での順位			
順位	UP/DN	議会名	総合順位
1 位	0	岩手県奥州市議会	2
2 位	1	福島県会津若松市議会	12
3 位	3	岩手県一関市議会	15

関東地方内議会の中での順位			
順位	UP/DN	議会名	総合順位
1 位	1	茨城県議会	4
2 位	▼ 1	茨城県取手市議会	6
3 位	1	神奈川県横浜市会	14

中部地方内議会の中での順位			
順位	UP/DN	議会名	総合順位
1 位	0	石川県加賀市議会	5
2 位	0	長野県飯田市議会	10
3 位	0	長野県松本市議会	11

近畿地方内議会の中での順位			
順位	UP/DN	議会名	総合順位
1 位	0	三重県議会	6
2 位	8	三重県四日市市議会	8
3 位	34	大阪府和泉市議会	9

中国地方内議会の中での順位			
順位	UP/DN	議会名	総合順位
1 位	0	鳥取県浜田市議会	13
2 位	1	鳥取県議会	22
3 位	▼ 1	岡山県真庭市議会	27

四国地方内議会の中での順位			
順位	UP/DN	議会名	総合順位
1 位	0	徳島県議会	26
2 位	0	徳島県那賀町議会	55
3 位	0	徳島県小松島市議会	101

九州・沖縄地方内議会の中での順位			
順位	UP/DN	議会名	総合順位
1 位	8	長崎県議会	36
2 位	1	宮崎県都城市議会	42
3 位	1	福岡県北九州市議会	61

■ 中村 健（早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長）コメント

本調査が 3 分野に分けて調査を行っている理由は、代議制民主主義の観点から、住民自治を成熟させていくために「住民参画」を積極的に進める活動を議会はとる必要があり、住民参画を進めるには情報共有の環境整備が不可欠となる。これら 2 分野を進めようとするれば、従来の議会活動を進化させる必要が生じる。議会運営を改めたり制度改正をしたり新たな機能を追加したり等である。これが機能強化にあたる。この 3 分野がバランスよく進められることで議会活動は活発化していくと考えている。「近隣の議会がどのような活動をしているか」を知っていただくためにエリア単位で順位を発表している。近隣の議会活動と自身の議会活動を比較することで新たな気づきや学びのために視察や研究に行くことも比較的容易になる。地方議会同士が互いに競い合っ活動の質を高めて行けることを期待している。

【予告】本調査をもとに個別テーマについて分析したレポートを随時研究所ウェブサイト等で発表します。テーマ分析の第一弾として、「災害への備えとデジタル活用」を 4 月 24 日（水）に発表します。

■ 本件に関する取材・問合せ先

早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革調査部会 担当:山内、松本
ご質問・ご取材フォーム：<https://maniken.jp/maniken/2023gikai/>
TEL：03-6709-6739 / Mail：mani@maniken.jp

※調査発表後は多くのお問い合わせを頂戴します。ご連絡はお手数をおかけしますが、【ご質問・ご取材フォーム】よりお願い致します。

